

## 窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

### 企業情報

株式会社グリムファクトリー

所在地	栃木県下野市		
ホームページURL	http://www.grimfactory.co/blank-c14qb		
設立年	1997年	業種	印刷業
従業員数	13人	資本金	1,000万円

### 企業概要

当社は、創業以来「お客さま第一」と考え、クオリティー・迅速な対応・気遣い・コスト削減を心がけ、当社からのご提案や新商品開発のお手伝いなどを通して、お客様満足度ナンバー1を目指しています。

特に、シルク・パッド印刷からデジタル印刷までの分野で、量産品でも不良ゼロ、少量多品種でも特徴があり満足いただける製品を提供しています。



### 自社の強み

当社では、特殊印刷に強みを持っていますが、特に自動車のタイミング・チェーンと呼ばれる金属部品への焼付け塗装技術は、「10年間で不良ゼロ」という実績を誇っており、業界でほぼ独占に近いものを持っています。この強みを当社の第一の柱として次の展開を図っています。

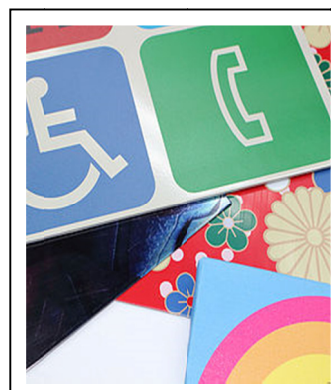
UV印刷技術はその一つで、長年基礎実験を繰り返し、他社では容易ではない金属・プラスチック面への高密着の技術を見出しています。お客様の信頼と期待に応えられるような着実な成果や、「今までなかったもの」の実現を目指すことで、業界をリードし社会に貢献することという理念を目指しています。



### 一押し商品

当社は、幅広い経験から印刷技術全般にわたって顧客対応できるという実績を持っています。また、その経験から最適な印刷方法を提案できる形をとることができます。委託をお請けすることからスタートし、より高品質かつ低価格でスピーディな印刷物をお届けできることが、当社を選んで頂けることのメリットと考えております。

現在は、特許取得したUVデジタル印刷を活かした製品にも力を注いでいます。



### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

同社は日用品の金属材にインクジェットで模様を印刷し、基材の上に強固に付着させる方法を開発されました。この技術を用いた方法で試作し、販売できるようなルートを求めて、当初「栃木県よろず支援拠点」を訪れました。その後、知的財産として権利化が可能かどうかについて、同拠点の担当者から紹介されました。

#### 最初の相談概要

一般的にはプライマー処理してコーティングし、その上からインクジェットで印刷しますが、強度が出ないので、独自の工夫を検討されていました。長年の経験から特長ある商品開発につなげたい、という強い意識から今回の開発が生まれたものと思われます。

#### その後の相談概要

本技術に対する新規性・進歩性の有無について、調査方法を理解して頂きました。さらに本技術に関する関連会社の特許等の権利関係、契約関係が重要であることを分かっただきました。技術の本質は当社が単独で開発したものであるため、その後の関連他社対応については、事業が上手くいくことを念頭において進めるようにアドバイスしました。また、デザイン面から事業推進への支援として、デザイン専門家等の派遣を行っています。

#### 窓口を活用して変わったところ

経営者は知財意識を強く持たれているので、秘密保持締結契約前やサンプルを出す前には必ず権利関係を意識されるようになりました。出願することで事業や技術を整理できるとの認識もあります。さらに、経営者として継続的に事業を発展させるため、知財権を含め広くバランスを持った事業運営を強く意識されています。「いままでなかった」を目指し、業界をリードする技術で社会に貢献するという会社の理念をより一層具現化されているようです。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

現在どのような状況にあるのかをできるだけ具体的に示すこと、どのような方向に向きたいかを明確に示すことが、窓口から有益な情報やアドバイスを受けるポイントと考えます。窓口では幅広い分野の専門家を紹介されているので、知財を切り口にして事業を守り、攻めの事業を構築することができると思います。

#### 窓口担当者から一言（氏名：山内 通秀）



現在の主力業務で大きなシェアを持っておられ、次の柱を強く求めておられたときに窓口に来られました。地道に研究開発を進められ権利取得をしてから次への展開を画策すると言う姿勢は、既存業務を沈滞させることなく、新天地を開きたいという夢を適える方策に合致しています。多岐にわたって支援を進めたいと思います。



## 窓口支援事例 【栃木県 知財総合支援窓口】

### 企業情報

有限会社 グリムファクトリー

所在地	栃木県下都賀郡壬生町		
ホームページURL	http://www.grimfactory.co/blank-c14qb		
設立年	1997年	業種	印刷業
従業員数	10人	資本金	300万円

### 企業概要

当社は、創業以来「お客さま第一」と考え、クオリティー・迅速な対応・気遣い・コスト削減を心がけ、当社からのご提案や新商品開発のお手伝いなどを通して、お客様満足度ナンバー1を目指しています。

特に、シルク・パッド印刷からデジタル印刷までの分野で、量産品でも不良ゼロ、少量多品種でも特徴があり満足いただける製品を提供しています。



### 自社の強み

当社では、特殊印刷に強みを持っていますが、特に自動車のタイミング・チェーンと呼ばれる金属部品への焼付け塗装技術は、「10年間で不良ゼロ」という実績を誇っており、業界でほぼ独占に近いものを持っています。この強みを当社の第一の柱として次の展開を図っています。

UV印刷技術はその一つで、長年基礎実験を繰り返し、他社では容易ではない金属・プラスチック面への高密着の技術を見出しています。お客様の信頼と期待に応えられるような着実な成果や、「今までなかったもの」の実現を目指すことで、業界をリードし社会に貢献することという理念を目指しています。



### 一押し商品

当社は、幅広い経験から印刷技術全般にわたって顧客対応できるという実績を持っています。また、その経験から最適な印刷方法を提案できる形をとることができます。委託をお請けすることからスタートし、より高品質かつ低価格でスピーディな印刷物をお届けできることが、当社を選んで頂けることのメリットと考えております。

現在は、特許取得したUVデジタル印刷を活かした製品にも力を注いでいます。



### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

同社は日用品の金属材にインクジェットで模様を印刷し、基材の上に強固に付着させる方法を開発されました。この技術を用いた方法で試作し、販売できるようなルートを求めて、当初「栃木県よろず支援拠点」を訪れました。その後、知的財産として権利化が可能かどうかについて、同拠点の担当者から紹介されました。

#### 最初の相談概要

一般的にはプライマー処理してコーティングし、その上からインクジェットで印刷しますが、強度が出ないので、独自の工夫を検討されていました。長年の経験から特長ある商品開発につなげたい、という強い意識から今回の開発が生まれたものと思われます。

#### その後の相談概要

本技術に対する新規性・進歩性の有無について、調査方法を理解して頂きました。さらに本技術に関する関連会社の特許等の権利関係、契約関係が重要であることを分かっただきました。技術の本質は当社が単独で開発したものであるため、その後の関連他社対応については、事業が上手くいくことを念頭において進めるようにアドバイスしました。また、デザイン面から事業推進への支援として、デザイン専門家等の派遣を行っています。

#### 窓口を活用して変わったところ

経営者は知財意識を強く持たれているので、秘密保持締結契約前やサンプルを出す前には必ず権利関係を意識されるようになりました。出願することで事業や技術を整理できるとの認識もあります。さらに、経営者として継続的に事業を発展させるため、知財権を含め広くバランスを持った事業運営を強く意識されています。「いままでなかった」を目指し、業界をリードする技術で社会に貢献するという会社の理念をより一層具現化されているようです。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

現在どのような状況にあるのかをできるだけ具体的に示すこと、どのような方向に向きたいかを明確に示すことが、窓口から有益な情報やアドバイスを受けるポイントと考えます。窓口では幅広い分野の専門家を紹介されているので、知財を切り口にして事業を守り、攻めの事業を構築することができると思います。

#### 窓口担当者から一言（氏名：山内 通秀）



現在の主力業務で大きなシェアを持っておられ、次の柱を強く求めておられたときに窓口に来られました。地道に研究開発を進められ権利取得をしてから次への展開を画策するという姿勢は、既存業務を沈滞させることなく、新天地を開きたいという夢を適える方策に合致しています。多岐にわたって支援を進めたいと思います。